



2023/3期（第47期）

決算説明資料

2023年5月24日
株式会社フォーカスシステムズ
（証券コード：4662）

- 1 2023/3期（第47期）決算 P.3
- 2 2024/3期（第48期）業績予想 P.13
- 3 <ご参考> 中期経営計画 24-26（概略） P.15
- 4 <ご参考> トピックス P.24
- 5 <ご参考> 当社の概要 P.29

① 2023/3期（第47期）決算

12期連続増収、6期連続増益

事業全体が順調に推移し、売上高・各利益ともに過去最高を更新

(単位：百万円)

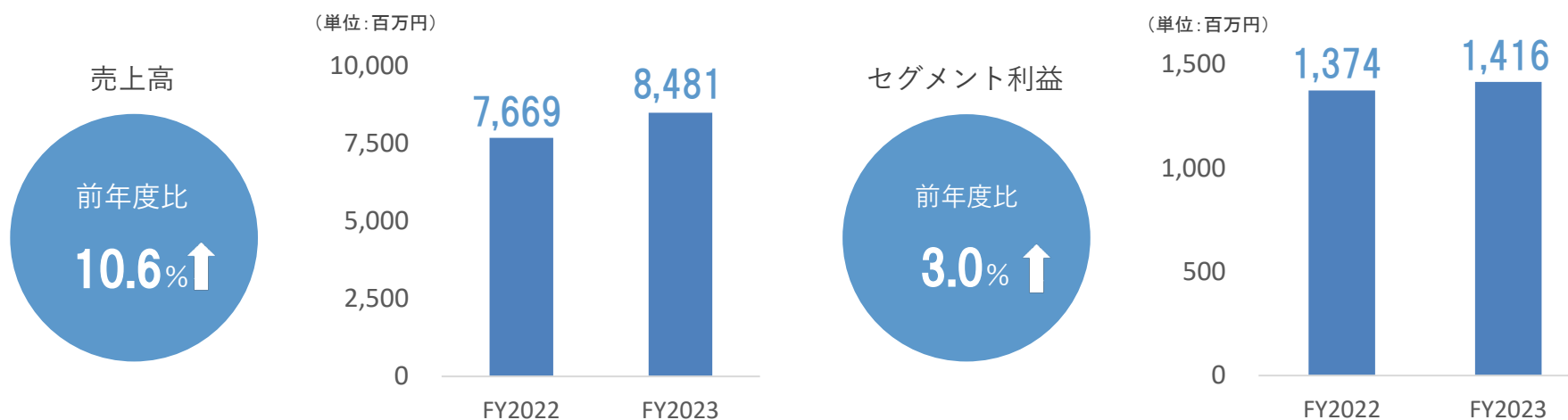
	FY2022 実績	FY2023 計画	FY2023 実績	前期比		計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	26,278	27,500	29,124	2,845	10.8%	1,624	5.9%
営業利益	1,640	1,800	1,894	254	15.5%	94	5.3%
経常利益	1,600	1,820	1,911	310	19.4%	91	5.0%
当期純利益	1,066	1,220	1,390	324	30.4%	170	14.0%

公共関連

主に官公庁及び地方自治体を最終ユーザーとする社会インフラ基盤に係るシステムの設計・製造からシステム稼動後の運用・保守

< 増収増益 >

医療・社会保険、マイナンバー関連、自動車関連を筆頭に
既存プロジェクトが着実に進行



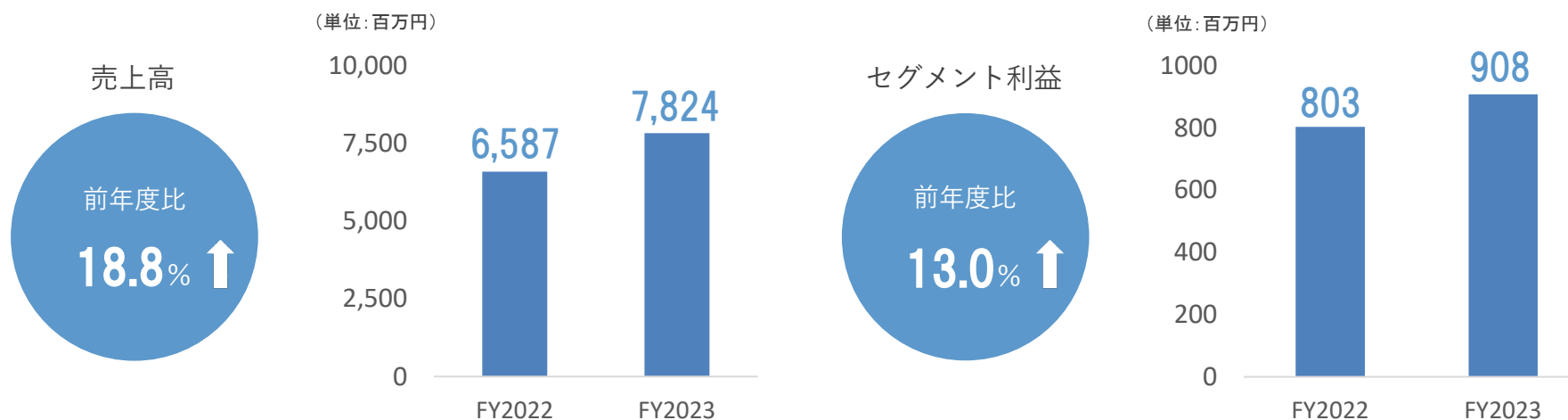
- 上期における収益の積上げが奏功し、新規開拓に伴うコストを吸収
- AI、アジャイル開発等、人材の育成機会を積極的に創出

エンタープライズ

主に法人企業の基幹業務システム・Webシステムの開発、ネットワーク・インフラの設計・構築、RPAソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

<増収増益>

前期に続きネットワークインフラ案件と基幹業務システムにより事業規模を拡大。



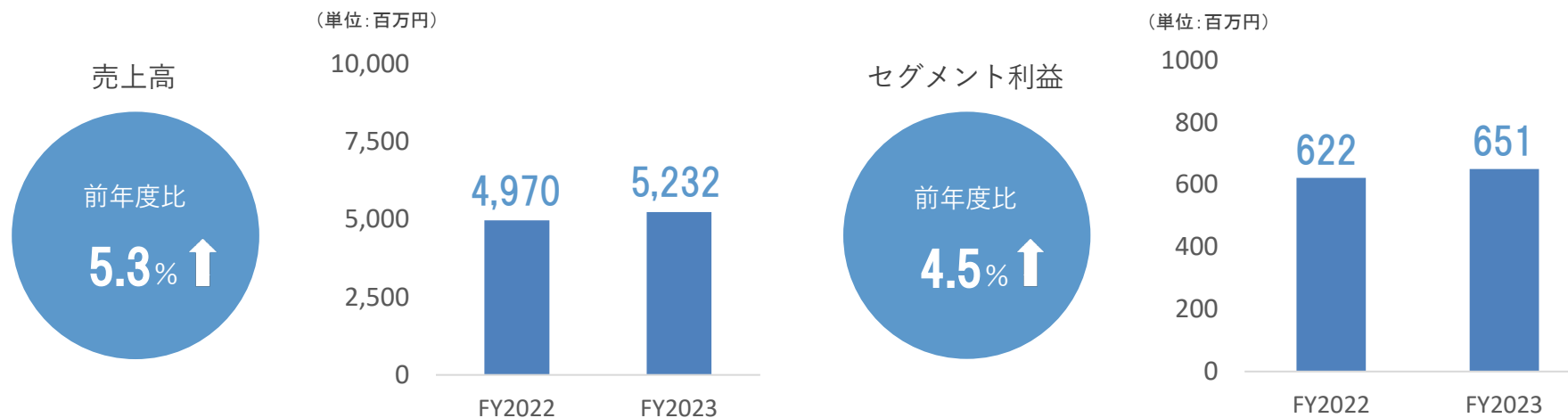
- intra-martやS A P等の受注・開発が好調。クラウド化とクラウドサービスの案件の着実な取込み。
- 案件の純増と最適化により拠点の移転コストを吸収しつつ、成長を維持。

広域ソリューション

主に東京・名古屋・大阪地域における、通信制御システム開発、組込みシステム開発、民間企業・行政機関向けシステム開発、AIソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

<増収増益>

ローコード開発案件の増加、プロジェクト管理の徹底が事業成長に寄与。



■ 同セグメントの幅広いポートフォリオを支える中核事業が堅実な成長に寄与。

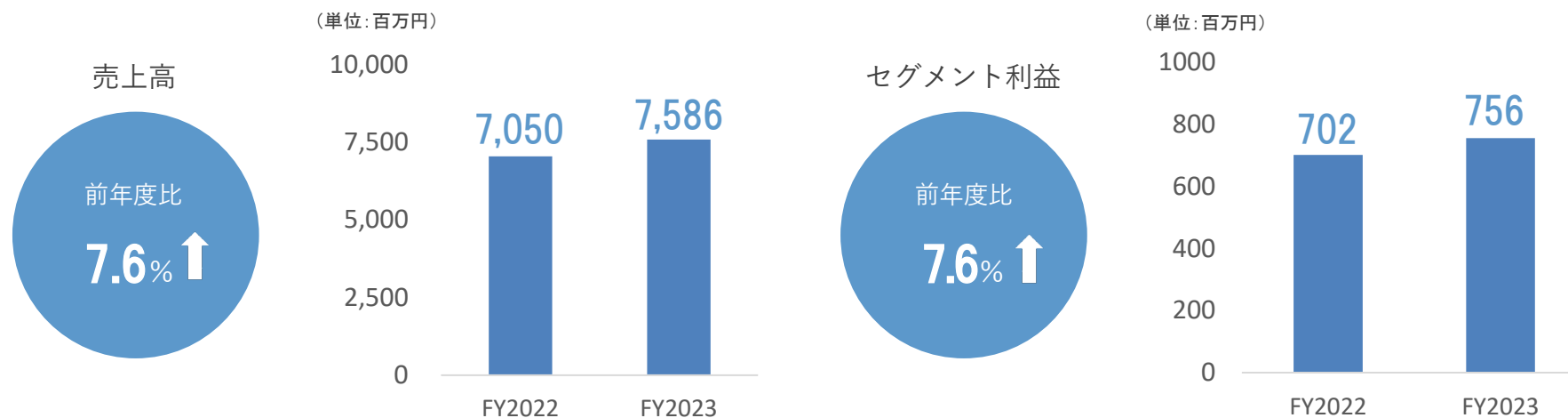
(例) 遠距離通信・移動体通信・クラウド化・地方自治体行政等

イノベーション

主にインフラ基盤設計・構築、メインフレーム構築、システム開発、付随する運用・保守、自社製品の製造、IoTソリューションの提供

<増収増益>

インフラ設計・構築の堅調さに加え、前期より続く大規模案件により業績好調。



- 将来成長の鍵となる大規模案件が業績に貢献。主要顧客のニーズに細やかに対応し、開発・インフラ共に好調。
- 自社セキュリティ製品による収益が増加。足下で自社IoT製品のソリューションアプリ開発も進行。

(単位：百万円)

	前事業年度	当事業年度
(資産の部)		
流動資産	10,869	11,875
固定資産	12,503	8,541
有形固定資産	3,510	3,649
無形固定資産	155	159
投資その他の資産	8,836	4,731
資産合計	23,372	20,417
(負債の部)		
流動負債	5,277	5,841
固定負債	3,330	1,761
負債合計	8,608	7,603
(純資産の部)		
株主資本	9,869	10,867
資本金	2,905	2,905
資本剰余金	2,158	2,167
利益剰余金	5,156	6,140
自己株式	△350	△346
評価・換算差額等	4,894	1,946
純資産合計	14,764	12,814
負債純資産合計	23,372	20,417

前事業年度末に比較し2,955百万円減少

(主な増加理由)

- ・現金及び預金の増加 935百万円
- ・建物の増加 116百万円

(主な減少理由)

- ・投資有価証券の減少 4,248百万円
- ・売掛金及び契約資産の減少 59百万円

前事業年度末に比較し1,005百万円減少

(主な増加理由)

- ・買掛金の増加 384百万円
- ・契約負債の増加 174百万円

(主な減少理由)

- ・繰延税金負債の減少 1,262百万円
- ・社債の減少 240百万円

前事業年度末に比較し1,950百万円減少

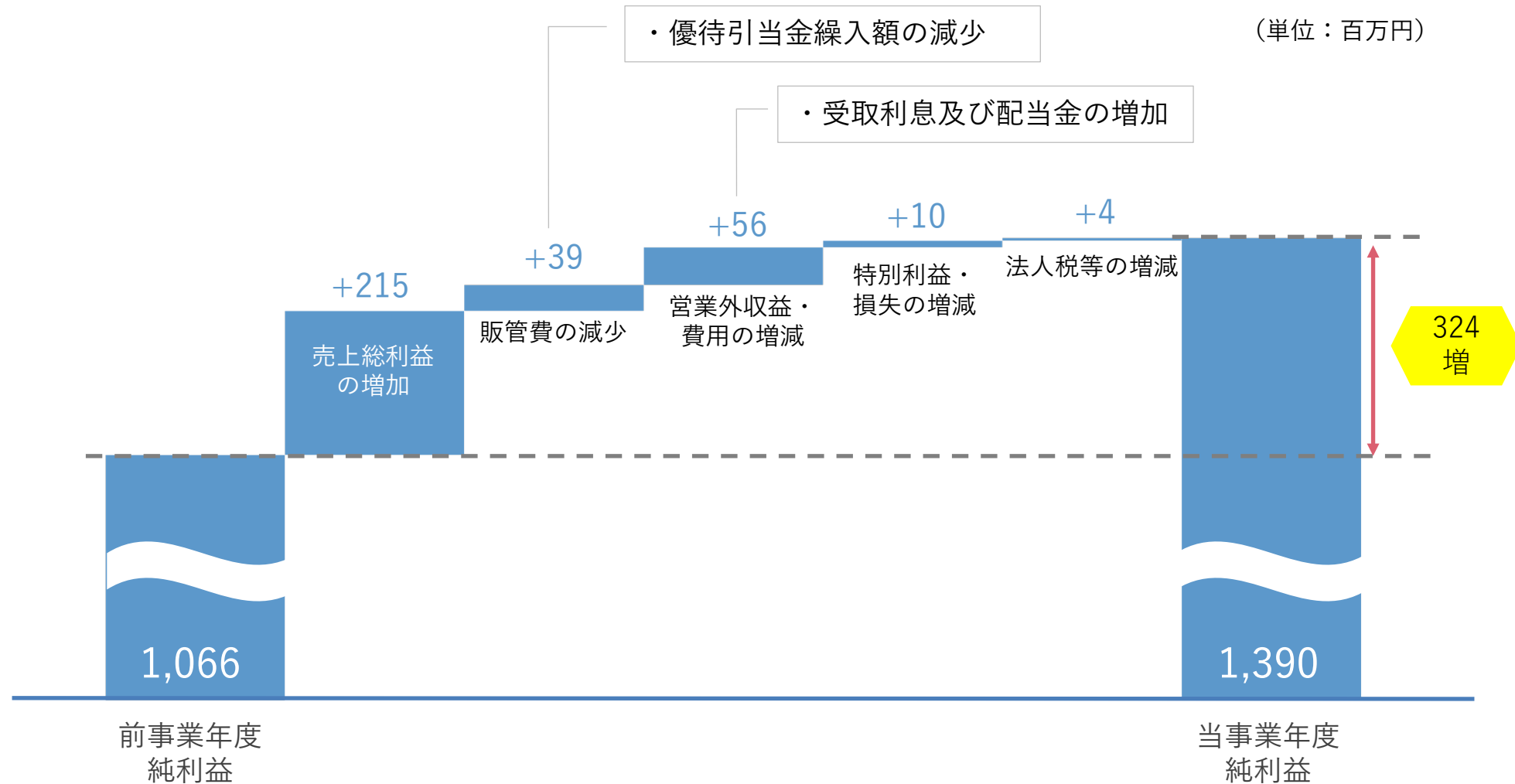
(主な増加理由)

- ・繰越利益剰余金の増加 983百万円

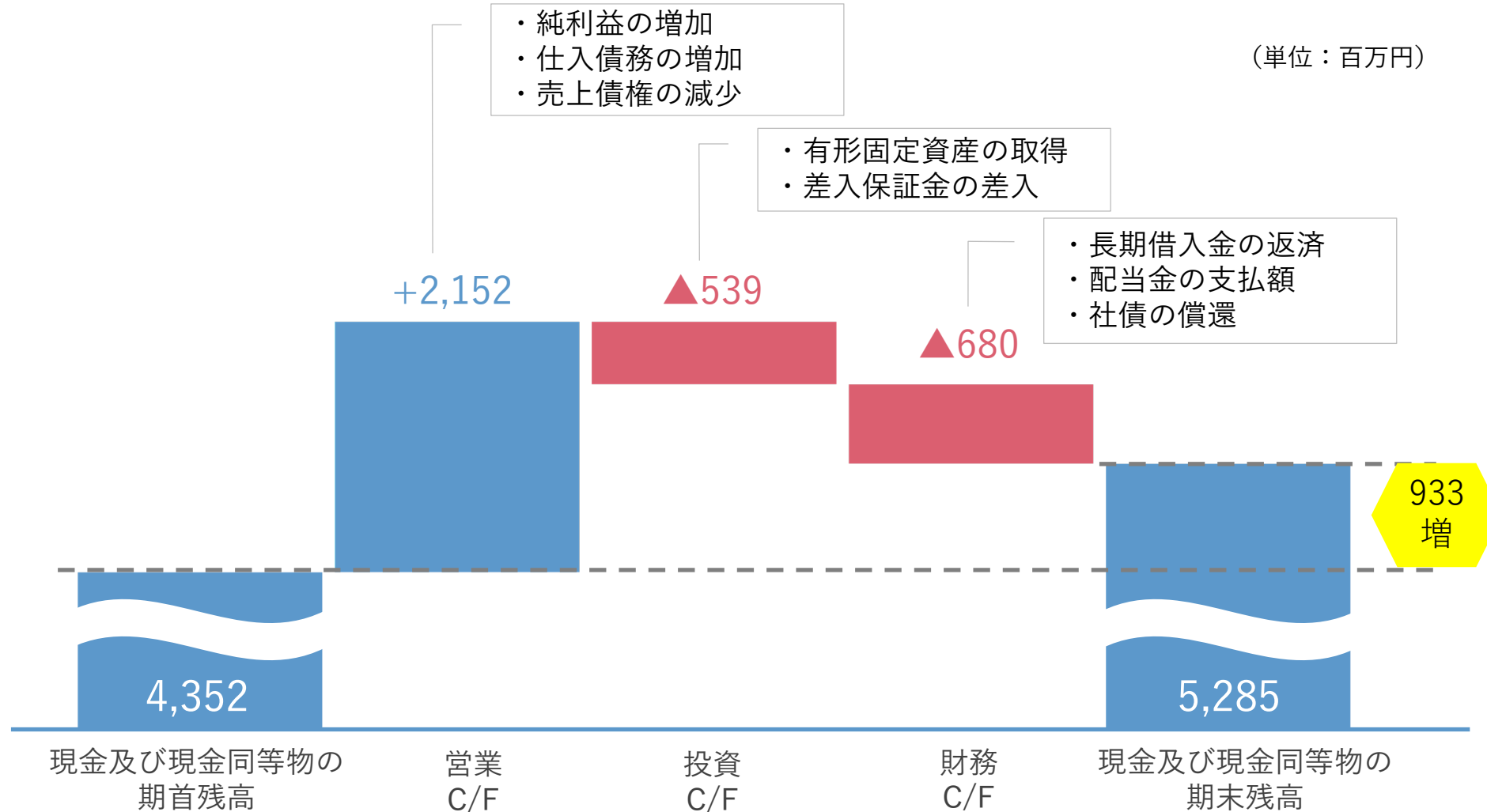
(主な減少理由)

- ・その他有価証券評価差額金の減少 2,947百万円

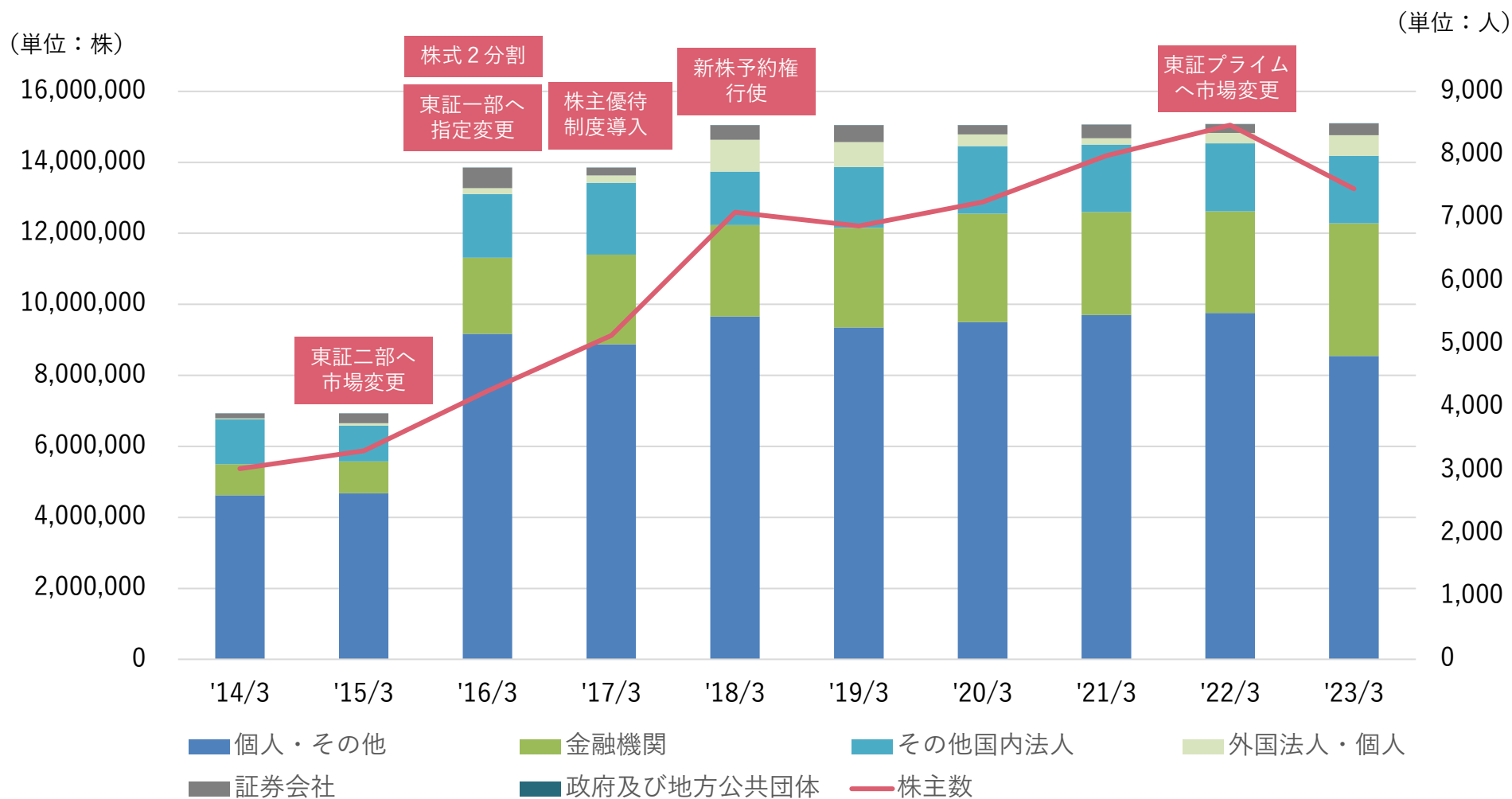
経常利益は前年比19.4%、純利益も前年比30.4%増加で着地



営業活動・設備投資・返済等が順調に進み、安定経営を継続



- 2023/3末の株主総数は7,457人（2022/3末から1,008名減）
- 個人の株数が減少した一方で、金融機関・外国人の株数が増加



2 2024/3期（第48期）業績予想

- 過去最高の売上高・利益を継続。
- FY2024の配当金は「38.00円/株」と、3円の増配予想。

	FY2023 実績 (百万円)	FY2024 予想 (百万円)	前期比増減率 (%)
売上高	29,124	30,100	3.4
営業利益	1,894	2,000	5.5
経常利益	1,911	2,020	5.7
当期純利益	1,390	1,450	4.3

	FY2023 実績	FY2024 予想
1株当たり当期純利益 (円)	92.18	96.07
1株当たり配当金 (円)	35.00	38.00
	(内訳) 中間配当 5.00	(内訳) 中間配当 6.00
	期末配当 30.00	期末配当 32.00
配当性向 (%)	38.0	39.6

3 <ご参考> 中期経営計画 24-26 (概略)

トップメッセージ

発展・利益・還元サイクルの強化

当社は独立系SIerとして、まっすぐブレずに“IT一筋”で成長を遂げてきました。
無謀な挑戦はしないが、果敢な挑戦は続ける。
三方良しの堅実経営が当社の強みであり、誇りでもあります。

そして来る2026年、設立50年を迎える節目を“新たな当社像に向かうスタートライン”に位置付けました。

次のステージを視野に、
『発展・利益・還元サイクルの強化』を基本とする3カ年の中期経営計画を発表します。

果敢な挑戦で事業を拡大し、増加した利益を従業員はじめステークホルダーにより多く還元する。
そして還元で、また新たな発展に繋げる。

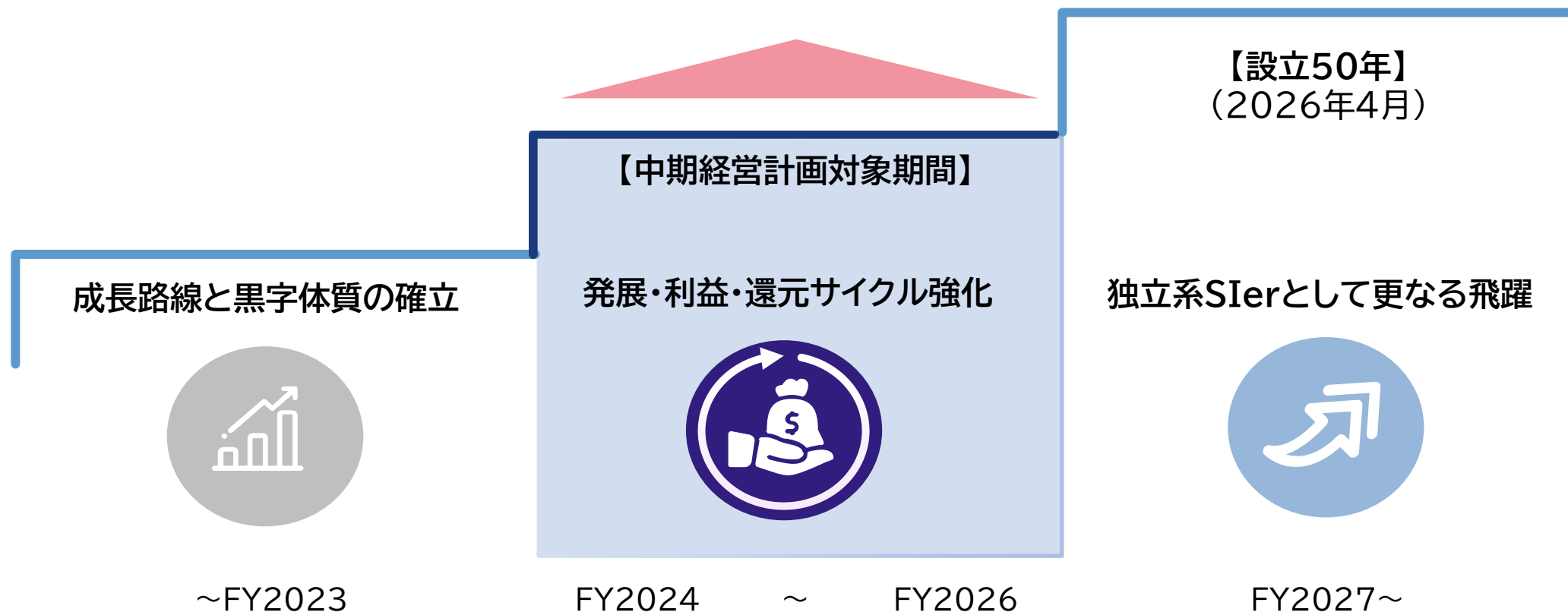
将来のすそ野が広がり、ステークホルダーが期待を膨らませる。
そのような企業になる当社の成長にご期待ください。

2023年5月12日
株式会社フォーカスシステムズ
代表取締役社長 森 啓一



中期経営計画の位置づけ

次のステージを視野に、

「成長投資」「収益性向上」「従業員・株主等への還元」を実現

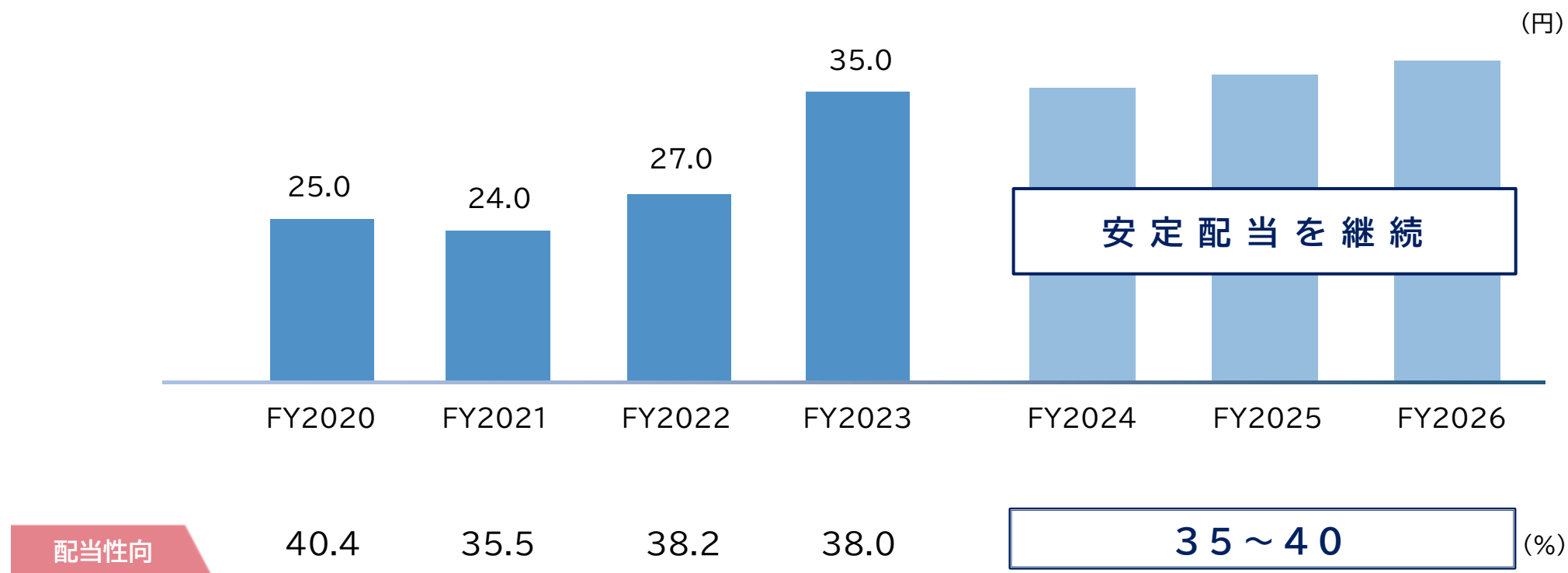


定量目標

	指標	FY2023 (実績)	FY2026 (目標)
利益目標 	売上高	291億円	330億円以上
	営業利益額	18.9億円	26.5億円以上
	営業利益率	6.5%	8.0%以上
	ROE	10.1%	12.0%以上
株主還元目標 	1株あたり配当額	35.0円	安定配当を継続 (FY24~26)
	配当性向	38%	35~40%

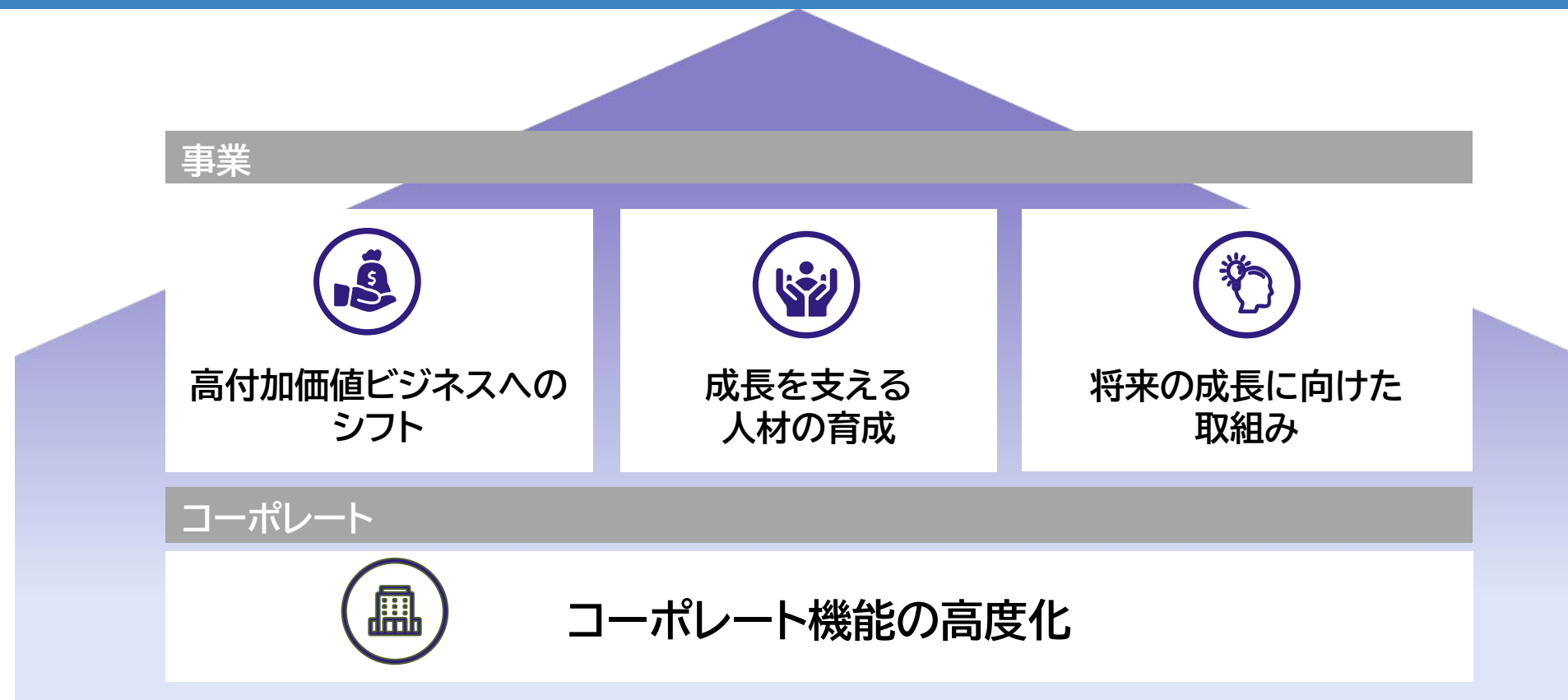
株主還元目標

株主還元を重要課題に、利益水準に基づく安定配当を継続



重点戦略

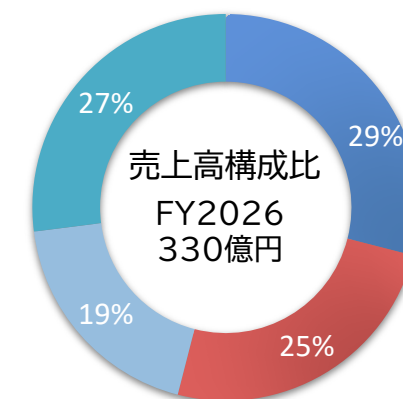
発展・利益・還元サイクルの強化



事業セグメントの構成

収益の安定と成長を両立した
リスク分散型の強靱な事業ポートフォリオを武器に事業を発展

セグメント	コア分野=強み	チャンネル	主なエンドユーザー
■ 公共関連	大規模公共業務システム	SIerとの 安定的な協業 + 当社独自チャンネル	官公庁・公共団体
■ エンタープライズ	基幹業務システム		民間企業
■ 広域ソリューション	業務アプリケーション 通信制御・組込み		民間企業・公共団体
■ イノベーション	ITインフラ・情報セキュリティ		民間企業



- 公共関連
- エンタープライズ
- 広域ソリューション
- イノベーション

コーポレート機能の高度化

3テーマで **サステナビリティ経営の実現** に取り組む

<サステナビリティ基本方針>

当社は、未来から必要とされる会社を目指し持続可能な社会と環境の実現に貢献します。

企業活動の中でステークホルダーとのエンゲージメントを大切にするとともに企業価値の向上に努めてまいります。



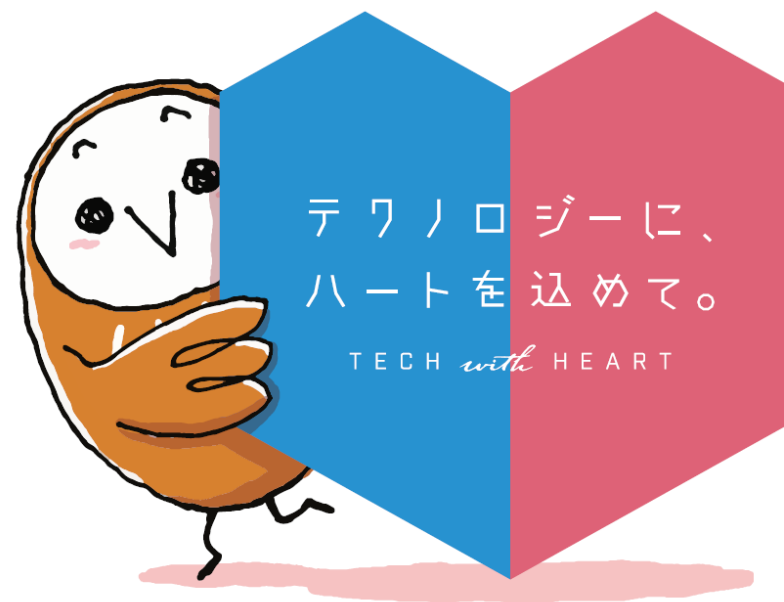
コーポレート機能の高度化

持続的な企業価値向上
のための人材戦略

コーポレート・ガバナンス
の発展

社会への貢献

今後とも、ご指導ご支援のほど
よろしくお願い申し上げます。



本資料は、2023年5月12日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2023年5月12日現在における仮定を前提としております。
実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
従って、当社として、その確実性を保証するものではありません。

4 <ご参考> トピックス

製品・サービス

業界トップクラスのオペレーショナルテクノロジー（OT）安全対策をワンストップで！
〈工場向け〉OTセキュリティアセスメントサービスの提供開始

製品・サービス

”WingArc Partner Award 2023”『Certified Expert of the Year』を受賞
～ウイングアーク1st認定資格「invoiceAgent Professional」の取得者数 国内1位～

製品・サービス

調剤薬局・コスメ＆ドラッグストアを展開するアインホールディングスが、
SaaS版 SAP S/4HANA® Cloudを採用～

製品・サービス

“SAP AWARD OF EXCELLENCE 2023” Cloud部門『Public Cloud』アワードを受賞！
～「SAP S/4HANA Cloud（RISE with SAP）」の年間売上総額 国内1位～

株主向け情報

配当予想の修正（増配）及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ

人事・組織

月給制正社員の給与ベースアップに関するお知らせ

製品・サービス

貿易情報電子化プラットフォーム「TradeWaltz」と連携
中小物流企業向け案件サービス「Beyond TheBook」Premiumプラン提供開始
～中小フォワーダー・荷主のDXを推進し、産業活性化へ～

自社製品

製品・サービス

株式会社エイト日本技術開発が複数のSAPソリューションを採用
～「SAP S/4HANA® Cloud」のシステム構築はフォーカスシステムズが担当～

製品・サービス

UiPath社と「トレーニング・アソシエイト」契約を締結
～売上高5,000億円未満の企業の市場開拓に向けて～

製品・サービス

自社製品

貿易業界の中小企業向けDX市場を開拓
～フォーカスシステムズとトレードワルツが協業しBeyond TheBookとTradeWaltzを連携～

製品・サービス

プライム案件連続受注が評価されBiz J AWARD 2022『Special Award』を受賞！

製品・サービス

滋賀県近未来技術等社会実装推進事業でIoT位置測位技術を活用
～もっとたくさんの“近江牛”、食卓に届け～

製品・サービス

官公庁や教育機関へのプロジェクト実績が評価され
「intra-mart Special Project Award 2022」を受賞！

株主向け情報

株主報告書の送付廃止のお知らせ

“未来に向けた取組み”

より広い分野でITを通して携わる取組みについて、当社ウェブサイトで紹介

医療

森ノ宮医療大学インクルーシブ医科学研究所・凸版印刷との共同研究

ロコモティブ・シンドロームの予防DX

センサーで歩行能力を自動評価し、リハビリトレーニングを自動で指導するシステム

技術経営

東京農工大学・リバネスとの共同研究

研究プロジェクトの状態計測

研究プロジェクトの状態を可視化することで
的確かつ簡便に把握し、研究プロジェクトの成功を支援

農業

イヴケア・滋賀大学・藤井牧場との共同研究

乳牛管理のIT化で、アニマルウェルフェアを目指す

低負荷で乳牛のストレス評価を実現し、「美味しい」だけでなく
「乳牛にも優しい」牛乳生産・生産環境構築に向けた研究

医療

横浜市立大学附属病院放射線部・中央大学国際経営学部との共同研究

CT検査における視線計測

患者の予後や生活の質の改善に向け
効率的な偶発的所見検出を支援するシステム

医療

京都大学大学院医学研究科婦人科学産科学との共同研究

セルフケアによる症状改善を促すフェムテックアプリ

女性特有の病気であるPMS/PMDDの症状を記録することで、
病状評価や症状改善を助けるスマートフォンアプリ

農業

滋賀県立大学・滋賀県畜産技術振興センター・tiwakiとの共同研究

IoTデバイスによる子牛生産の省力化

IoT製品導入で、子牛の病変早期発見を実現し、
畜産業界のDX推進と省力化に貢献

自社製品

5 <ご参考> 当社の概要

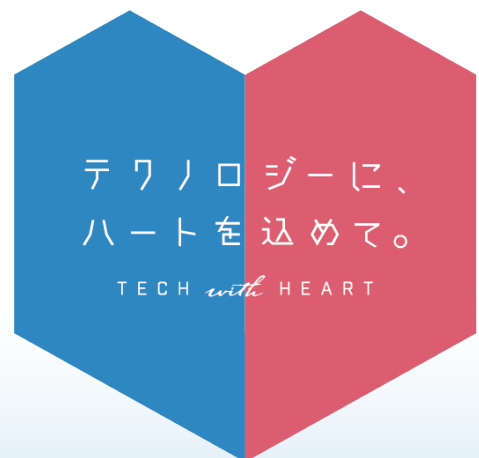
事業内容	システムコンサルティング受託開発・保守運用・技術支援 情報セキュリティ関連技術・製品の開発販売など
本社	東京都品川区東五反田2-7-8 フォーカス五反田ビル
事業拠点	東京、大阪、名古屋
資本金	29億円
上場市場	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：4662）
従業員	1,304名（2023年3月31日現在）

- 1977 ソフトウェア開発を目的として、株式会社フォーカスシステムズを設立
- 1978 沖電気工業(株)と取引を開始し、電子交換機のソフトウェア開発業務開始
- 1988 日本電信電話(株)（現(株)NTTデータ）と取引を開始し、官公庁向けシステムの受託開発開始
- 1996 日本証券業協会に株式を店頭登録
- 1997 日本IBM(株)と取引を開始し、システム保守・運用／インフラ技術支援業務の受託開始
- 1999 セキュリティ部門の受託開始（情報セキュリティ事業開始）
- 2004 情報セキュリティでの新分野デジタルフォレンジック製品販売開始
- 2015 東京証券取引所市場第二部へ市場変更
- 2016 東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定替え
- 2022 東京証券取引所プライム市場へ移行

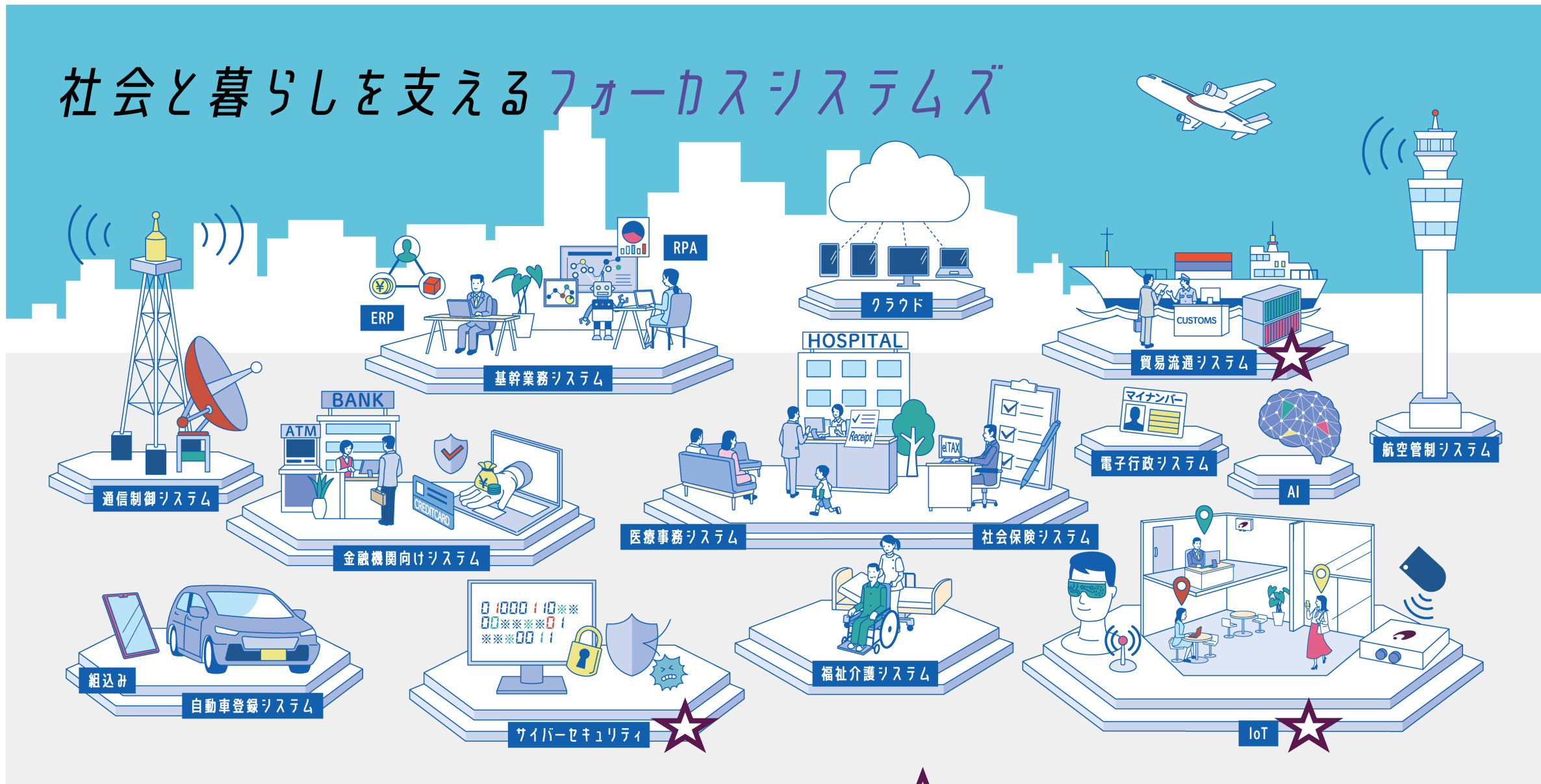
経営理念

社員すべてが心と力を合わせ、
企業の発展と成長を通じて、
未来のより良い環境作りに貢献する

コーポレートスローガン



社会と暮らしを支えるフォーカスシステムズ



★ 一部に自社製品を含む分野

セキュリティ

暗号製品

FP Pro[®]

ワンタッチ
FP Pro[®]

4CS[™] 4Sax[®]
Certified Suite

4Custom[™]

貿易SaaS



Beyond TheBook

電子透かし



acuagraphy acuapicture

IoT

指向性受信機

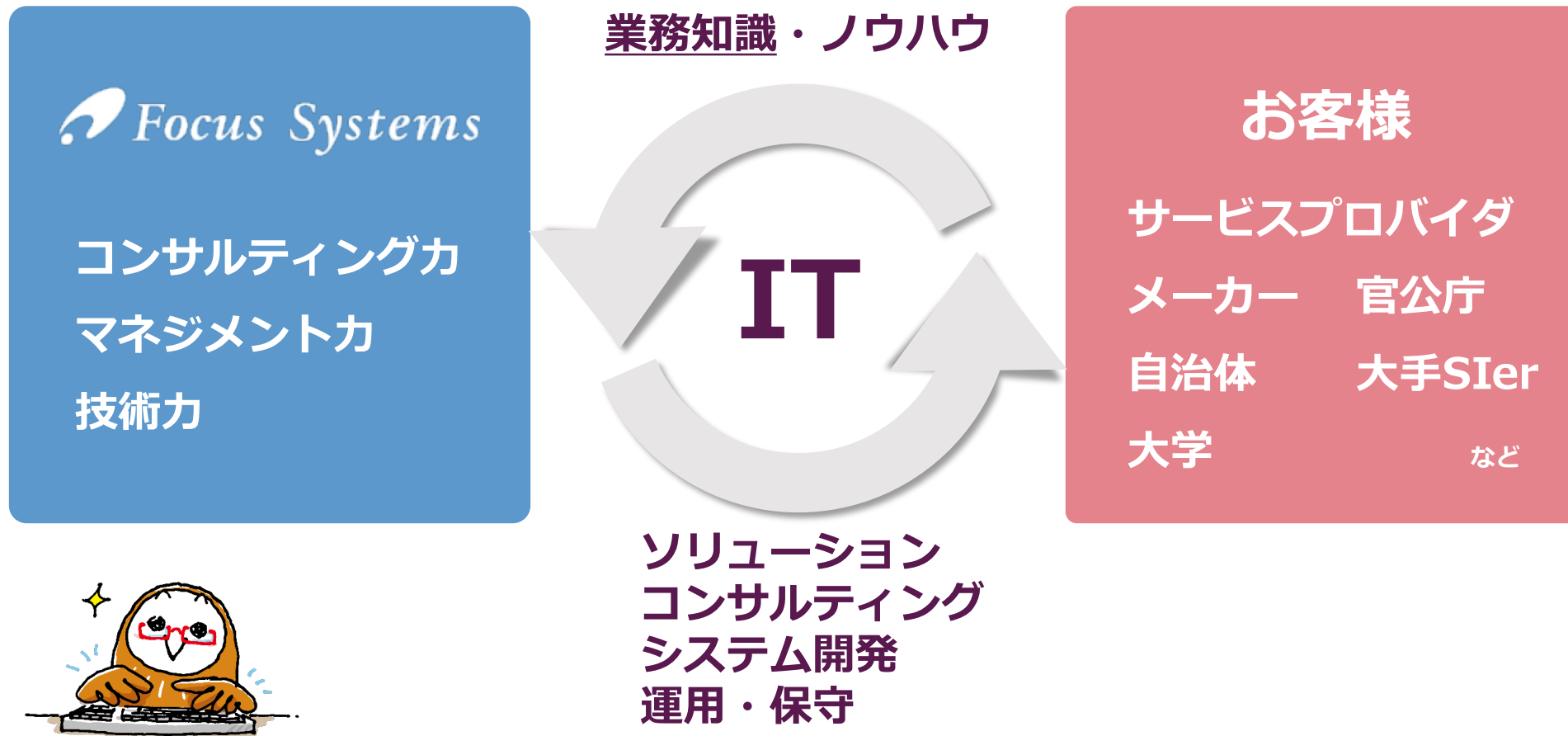


ビーコン製品

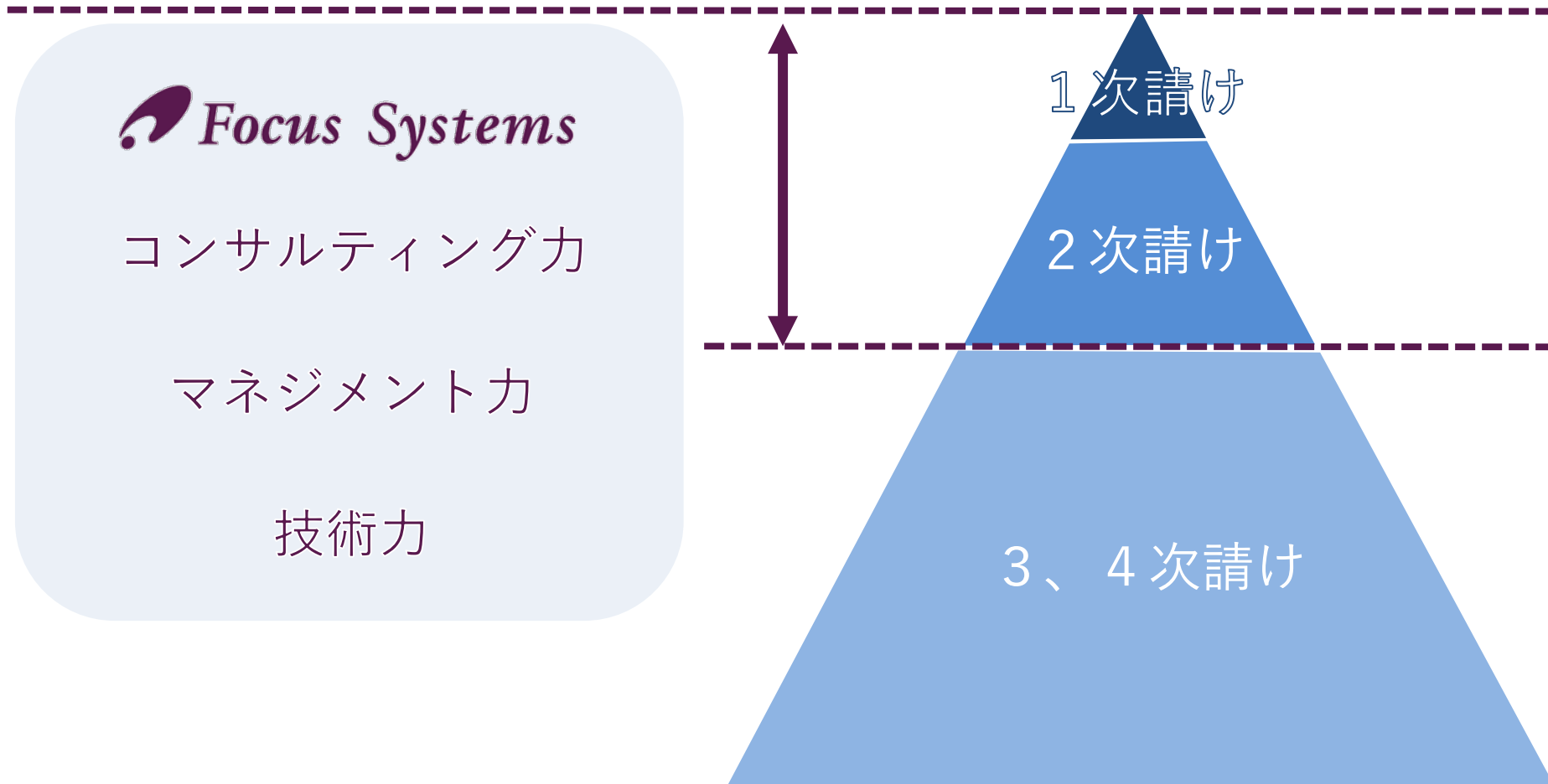


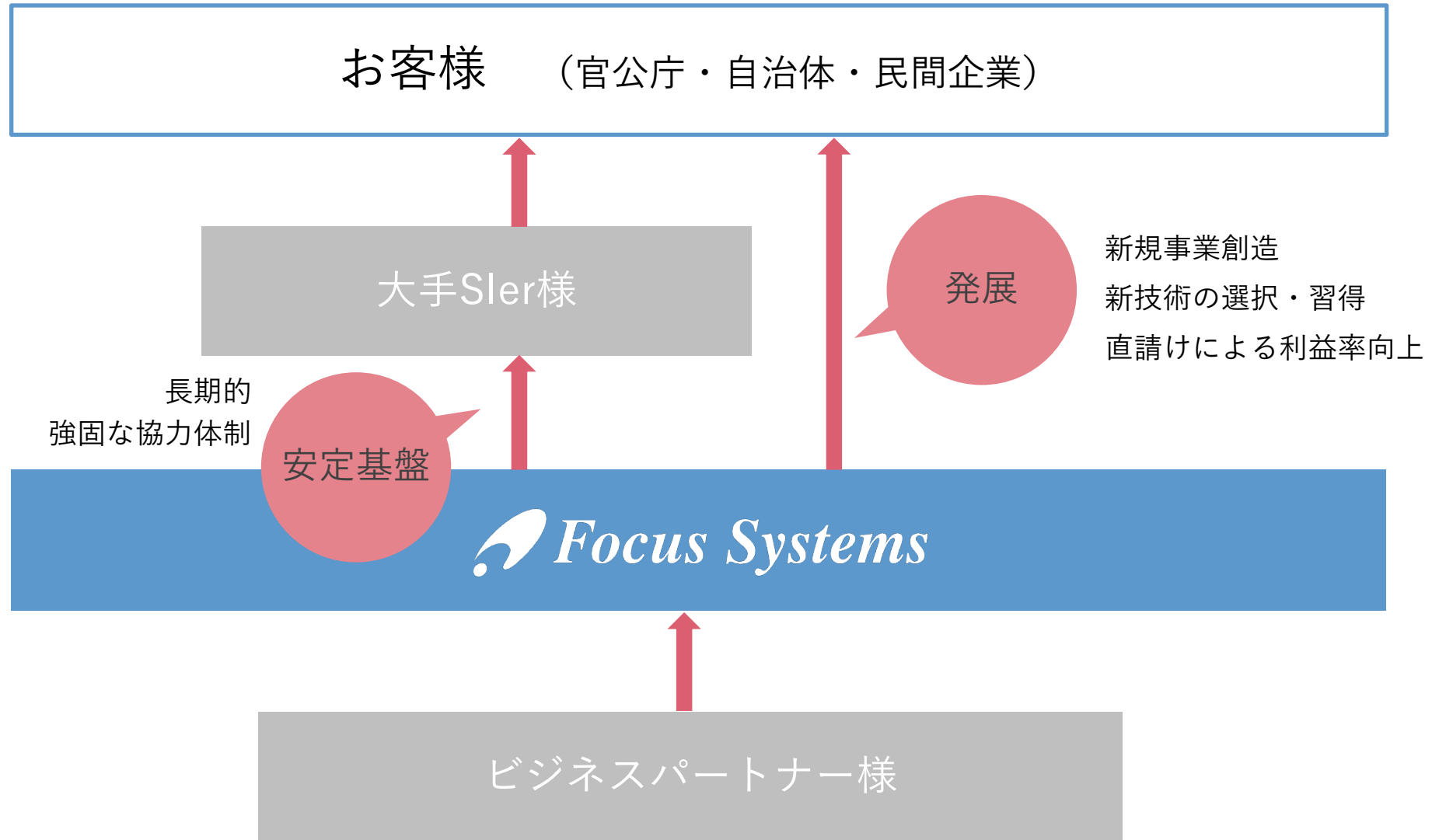
	独立系	ユーザー系	メーカー系
概要	<p>経営も資本も 独立している</p>	<p>情報システム子会社 商社/金融の元システム部</p>	<p>コンピュータ会社 ハードウェア会社</p>
長所	<p>幅広く自由な事業分野 培ったものは自社資産</p>	<p>親会社のノウハウ活用 安定した事業基盤</p>	<p>親会社のハード活用 ソリューション提案 安定した事業基盤</p>
短所	<p>すべて自力の経営 経営と財務の基盤 顧客&協力会社・知的財産</p>	<p>専門分野が限定的 事業領域が狭い</p>	<p>親会社の縛り</p>

【価値 × 信頼】が蓄積されるビジネスモデル

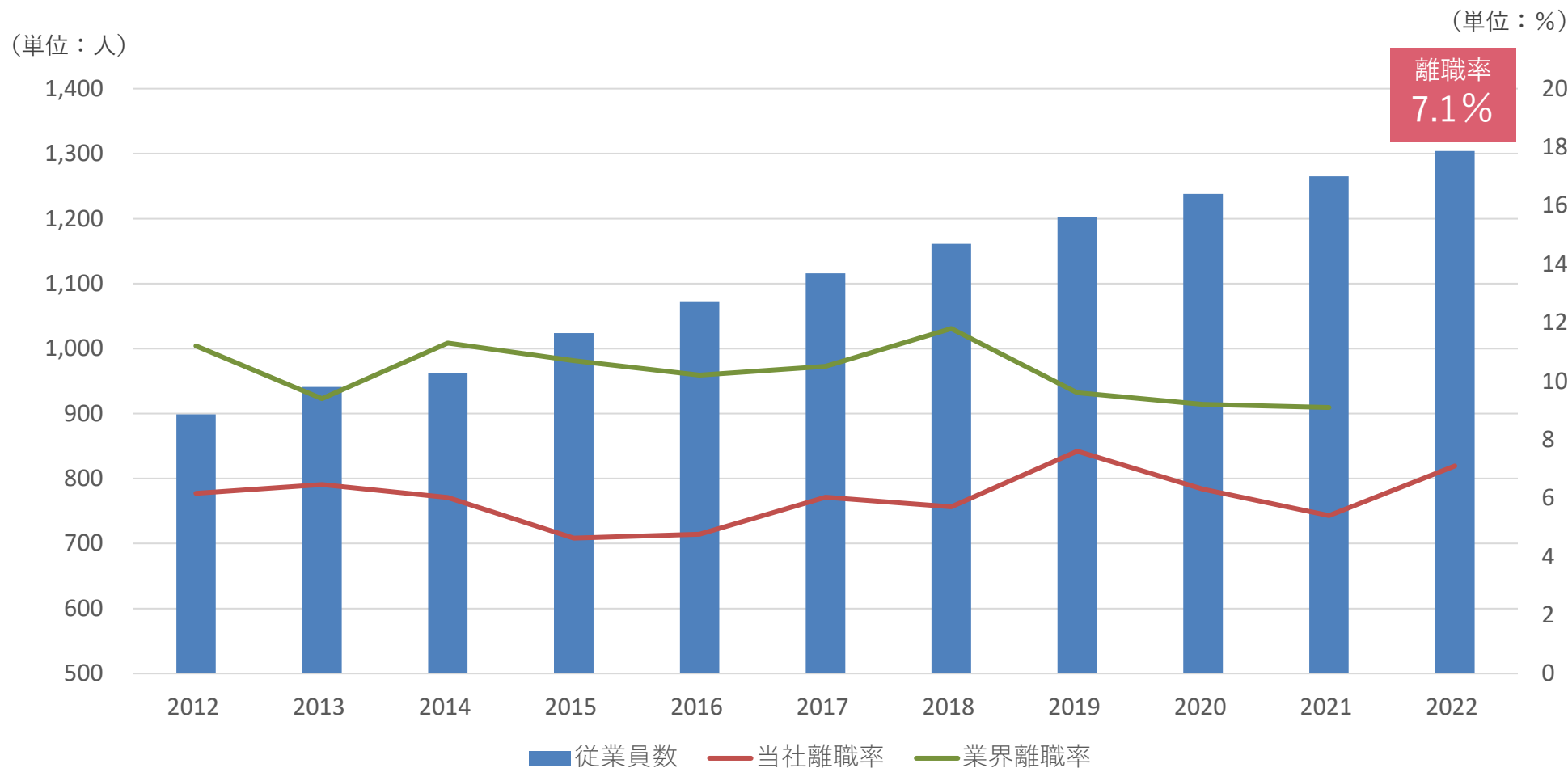


- 当社は、独立系のシステムインテグレーター（SI）
- 上流で求められるコンサルティング力から、下流で求められる技術力まで保有





- 新卒・中途共に求職者に向けた情報開示を充実させる等、当社の魅力認知策を強化
- 採用時のミスマッチ低減と入社後の若手支援施策などにより、業界離職率の低位を維持



※業界離職率は「雇用動向調査結果の概要」(厚生労働省)より抜粋 ※当社離職率は年度、業界離職率は年を基準としている。



経済産業省および日本健康会議が共同で優良な健康経営を実践している法人を認定する「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に選定されました。

1 部活動支援

- …社員の健康を促進するため、部活動への活動支援を実施。現在、9つの部活に約150名が所属。



2 健康管理セミナー

- …心身のコンディションを整えるマインドフルネス研修や、食生活改善・肩こり腰痛予防セミナーなど、テーマ別のセミナーを実施。



「たばこ健康被害」への理解促進や「メンタルヘルス」対策等も実施



✂️ ワークライフバランス

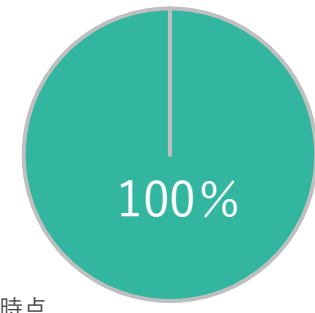
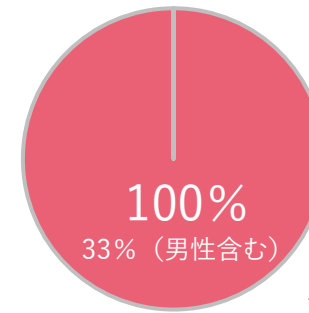
1 短日・短時間勤務制度

…仕事と育児・介護の両立を支援する制度。
短日（週3日）、短時間（1日5または6時間）が選択可能。
※育児は小学校3年生まで、介護は介護事由がなくなるまで可。
※同制度上で、フレックス制度も適用可。

くるみん（次世代育成支援）
認定

育児休業あけ短日・短時間
勤務制度利用率

育児休業取得した社員の
復職率



※2023年3月末時点

2 ジョブリターン制度（再雇用制度）

…ライフイベント（結婚・出産・育児）や
キャリアアップ（留学・転職）を目的として退職した場合、
10年以内であれば再雇用OK。

3 フレックス制度

…自分のライフスタイルに合わせた働き方を支援する制度。



ダイバーシティ

1 職域創成

- ・・・障がい者雇用の新たな職域創成を目指し、水耕栽培による野菜の生産業務を2015年に開始。現在は、千葉県と茨城県に農園を設立し、農業に従事したい障がい者の方の就労を実現しています。



2 女性活躍

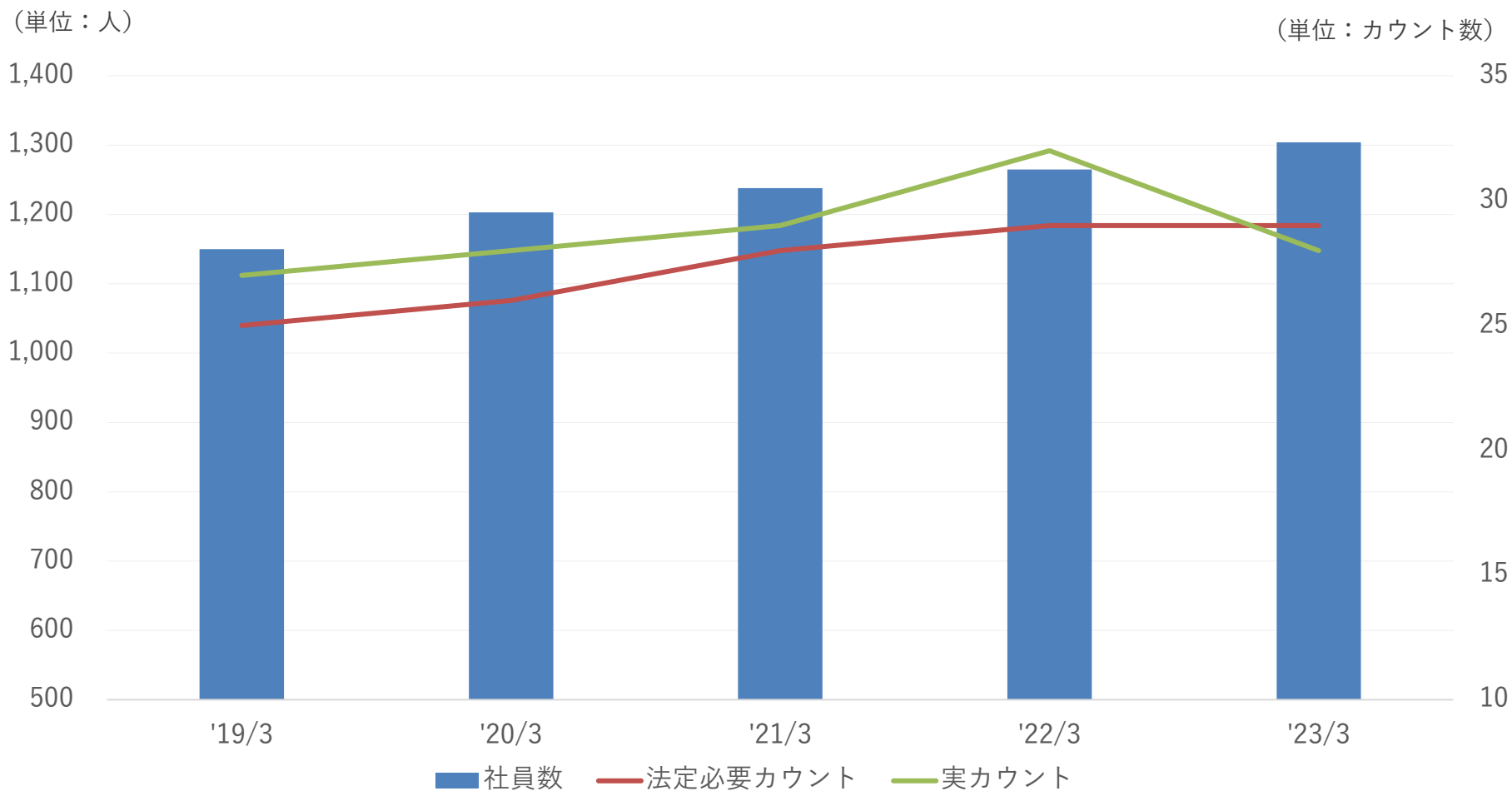
- ・・・女性社員を対象に、働き方などを伝え、キャリアプラン形成のサポートを実施。



えるぼし（女性活躍推進）

女性活躍推進法に基づく優良企業として「えるぼし認定」取得。

- 農業及び事務の職域開拓を図り、多くの障がい者が長く働ける環境を整備。
- 法定雇用率の上昇と退職により法定カウント数を下回るも、
2022年に新たな自社農場をオープンさせるなど雇用拡大に注力。



マスコットキャラクター 「ふくえさん」

フォーカスシステムズや情報システムの世界を
身近に感じていただくよう
ビジネスのこと、従業員のこと、未来のこと・・・
ふくえさんを通してさまざまな情報を発信しています。



LINESTOREで検索!!

ふくえさん

